

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 会議名  | 長浜市指定管理者選定委員会第1委員会<br>(令和5年度第4回会議) |
| 日時   | 令和5年10月25日 12:55～16:15             |
| 審査対象 | 長浜北部福祉ステーション                       |

#### 審査結果概要

- (i) 施設所管課（長寿推進課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（社会福祉法人長浜市社会福祉協議会）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計  
1,000点満点中：751点（100点満点中：75.1点）
- (v) 審査  
指定管理者候補として適当と判断する者  
所在地 長浜市湖北町速水2745  
名称 社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会  
代表者 会長 平井 和子  
選定にあたっての条件 特になし

#### 質疑応答

- 委員 : 経費縮減の取組として、タブレットを用いた業務効率の向上が記載されているが、どのように業務効率を図っているのか？
- 申請者 : 通所介護と居宅介護支援でタブレットを活用している。以前は紙で記録していたが、通所介護では事業所に各2台を配備、居宅介護はケアマネに各1台を配布し、訪問先等で直接入力や情報提供できるので効率化につながっている。
- 委員 : 専門職の採用にあたっては人材確保が難しいと思うが、どのように工夫されているか。
- 申請者 : 特に介護系、看護師、理学療法士は確保が非常に困難。職業安定所やHP、人材派遣、人材紹介など幅広いルートから確保に努めている
- 委員 : 不足はないということか。
- 申請者 : 厳しい状況は続いている。
- 委員 : 地域包括支援センター業務を受託し、それには相談機能があると思うが、高齢者福祉センターにも相談窓口がある。どのようにすみ分けしているのか。
- 申請者 : 包括支援センターには幅広く対応できる専門スタッフを配置している。高齢者福祉センターはつなぐ窓口としていて、相談は包括支援センターの専門職が対応。

- 委員 : 正規職員の雇用制度を導入しているが、利用はあるか。
- 申請者 : ここ数年、毎年1回募集して、年1～2名を採用している。意欲ある人材は処遇につなげていくようにしている。
- 委員 : 社会福祉協議会の人事評価について、全国的な人事評価のフォーマット等はあるのか。国からの指導等はあるのか。
- 申請者 : 特にない。それぞれの社会福祉協議会で取り組んでいる。時代の要請もあるのでしっかり取り組んでいきたい。

#### 審査

- 委員 : タブレットの活用にあたっては、経費節減の視点だけでなく、新たなサービスの提供等にも活用していただきたい。
- 委員 : 介護人材等の専門職の確保は難しいが、いろいろと工夫して人材確保と継続的なサービスの提供をしてほしい。
- 委員 : 住民ニーズにあったサービス提供にむけて、これからも努力いただきたい。
- 委員 : 北部ステーションならではの取組みをされている。今後も地元や関係機関とのコーディネートをしながら運営してほしい。
- 委員 : いろいろ取組みをされているので、うまく広報PRしていただきたい。
- 委員長 : 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会を指定管理者候補として適当と判断してもよろしいか。
- 全員 : 異議なし。